

表 1 - 1 4 障害の種類別、採用前、採用後常用雇用身体障害者の状況

(単位：千人、%)

障害種類	身体障害者全体	採用前身体障害者	採用後身体障害者	不 明
身体障害者全体	396 千人 100.0 %	69.2	30.0	0.8
視 覚 障 害	43 100.0	90.2	9.7	0.2
聴 言 障 害 計	60 100.0	91.5	7.8	0.7
聴 覚	48 100.0	91.1	8.1	0.9
平 衡 機 能	4 100.0	96.4	3.6	0.0
音声又は言語機能	8 100.0	91.6	8.2	0.3
肢 体 不 自 由 計	214 100.0	67.2	32.0	0.1
上 肢 切 断	21 100.0	56.1	43.7	0.2
上 肢 機 能	57 100.0	63.5	36.3	0.2
下 肢 切 断	11 100.0	65.5	34.3	0.2
下 肢 機 能	105 100.0	72.7	25.9	1.4
体 幹	15 100.0	53.4	46.6	0.1
脳病変上肢機能	2 100.0	82.0	18.0	0.0
脳病変移動機能	3 100.0	89.1	7.7	3.2
内 部 障 害 計	60 100.0	37.2	62.7	0.1
心 臓 機 能	30 100.0	41.6	58.3	0.1
腎 臓 機 能	23 100.0	35.7	64.2	0.1
呼 吸 器 機 能	2 100.0	27.1	72.9	0.0
膀胱・直腸機能	4 100.0	12.2	87.6	0.1
小 腸 機 能	1 100.0	74.0	26.0	0.0
重 複 障 害	15 100.0	81.6	12.5	5.8
不 明	5 100.0	49.1	50.9	0.0

へ 障害の程度別

障害の程度別に採用前身体障害者と採用後身体障害者の構成比を比較してみると、採用前身体障害者では軽度障害者の割合が比較的高くなっており一方、採用後身体障害者では中度障害者の比率が高くなっている。

表 1 - 1 5 障害の程度、性別、採用前、採用後常用雇用身体障害者の雇用状況

(単位：%)

障害の程度	採 用 前			採 用 後			不 明
	男女 計	男 子	女 子	男女 計	男 子	女 子	
	273 千人 100.0 %	192 千人 100.0 %	81 千人 100.0 %	118 千人 100.0 %	110 千人 100.0 %	9 千人 100.0 %	
合 計							5 千人 100.0 %
重 度	33.2	33.8	31.6	33.7	33.2	40.9	17.1
中 度	35.6	35.6	35.5	45.1	45.6	39.8	32.6
軽 度	36.8	26.3	27.9	18.9	19.0	16.7	15.7
不 明	4.4	4.2	5.0	2.3	2.2	2.6	34.7